

※同地区内の異なる意見も区別せずにまとめている。

【資料1-4別紙1】

	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区
水揚げ量の変化	<ul style="list-style-type: none"> 昔はサケが獲れすぎて稚魚放流をストップしてくれと言われたことがあるが、現在は全盛期の1/10程度で、ブリが増えている。 10年ほど前から、稚魚放流していた前期群のサケが回帰しなくなった。 ブリが獲れるようになり、サイズの規格を決めてから10年くらい経つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 漁獲が減った上にアザラシ被害が出ている。約30年前から漁獲が減り続けている。 2003年の漁獲量は秋定置で900トンあったが、2021年は最悪で20トン未満だった。 水温が高くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 最近カジカやソイ、アイナメ等の魚種が獲れなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 昔はサバの漁獲が多い時はサケが入らなかったが、4～5年前から春定置でサバに混じってトキシラズが入るようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 約20～30年前は陸から魚が跳ねるのが見えた。 昔は操業直後の漁獲で獲れ具合が予測できたが、今はそれが分からない。魚が多ければ傾向は同じだろうが、今は魚が少なく、どの海流に乗るか分からない。傾向が崩れた。 	<ul style="list-style-type: none"> 20～30年前は、サケマスの漁獲が多い時は2～3トンあったが、今は1トンもない。
ゼニガタアザラシ以外の被害	<ul style="list-style-type: none"> 過去に定置網にトドが入って回収したことがある。 ゴマフアザラシが増えている。ゼニガタアザラシと交雑したことも増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> オットセイは昔からいる。 シャチの目撃情報は毎年あり、網が破られたことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> サケの頭を残して身を食べる被害やブリの被害がある。直接姿を見ていないが、アザラシと魚の食われ方が違うのでオットセイだと思う。 10月頃からオットセイ被害が出る。 	<ul style="list-style-type: none"> オットセイが網の中で死んでいることがある。 アザラシか、他の生物による被害か分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> オットセイは網の中をぐちゃぐちゃにする。 アザラシかオットセイかどちらの被害か分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 3～4年前からトドやオットセイが増えた。 オットセイは1回だけ来たことがあるが、動きが速いから違いが分かる。
ゼニガタアザラシによる食害以外の漁業被害	<ul style="list-style-type: none"> 防除格子網や捕獲網を付けるようになってから、漁網への被害が出始めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 約3年前ぐらいから金庫網が破られるようになった。穴が見つければいいが、見えない所に開けられることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 断言できないが漁網を破られる被害はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 特にない(網の被害があっても、アザラシによるものか分からない)。 	<ul style="list-style-type: none"> 特にない 	<ul style="list-style-type: none"> 特にない
ゼニガタアザラシの頭数・目撃頻度の変化	<ul style="list-style-type: none"> 昔から個体数が減ったと感じたことがない。 むしろ個体数が増えていないか。2021年よりも混獲頭数が多い。 他社の定置網の近くに船を走らせても、網にいるアザラシは逃げていかない。 襟裳岬が見かけなくても別の場所に移動しているだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 個体数が減っている実感が無い。 襟裳岬西側岩礁の個体はむしろ増えている気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> 船の音で逃げるので、定置網の近くで目撃しない。 もともとアザラシを目撃することはあまりないが、目撃しなくなっているので個体数はたぶん減っていると思う。 この地区の岩礁や渚に上陸していると聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 定置網の中や外で目撃する。捕獲が開始された2016年以降も特に目撃に変化はない。 隣接する地区で魚が少ないと、アザラシが寄ってくる。 襟裳岬以外の岩礁や河口でも2～3頭見かける。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査ではアザラシの上陸頭数が減ってきているとあるが、襟裳岬以外の場所に行動範囲が広がっている。15～20年前はこの地区でアザラシを見なかったが、今は春も秋も見ると襟裳岬の頭数が減っていたとしても全体の頭数は変わらないと思う。 目撃頭数は増えていないが、目撃頻度は増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> アザラシの個体数が増え始めてからこの地区でも被害が出て居座るようになった。襟裳岬方面で餌が少なくなったからだと思う。数年前から定置網の近くのテトラポットにも上陸し始めた。 エンジンの音を聞くと定置網から逃げていくが、2～3頭入っていることがある。 他社より早い時期に網を海に入れるとアザラシが寄ってくる。他社が網を入れ始めるとアザラシが少なくなる。
アザラシ被害の特徴や変化	<ul style="list-style-type: none"> 被害を受けたサケが金庫網に留まらずに網の外に落ちているなど、目に見えない被害がある。 最近サケの頭を落とすのではなく、身が食べられる被害が増えている。 食害よりも、アザラシが網にいることで逃げたり寄らなくなる魚の方多いと思う。 頭数が増えて、餌が足りなくなっているのではないか。 アイナメは昔たくさんいたが、今はいなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 昔は漁獲が多かったため、被害があっても気にならなかった。今は会社の経営が危機的状況にある。 魚が少ない方が被害が目につく。 近年のゼニガタアザラシ対策で、被害は全然変わっていない。 昔は頭が無い被害ばかりだったが、数年前からは尾や身体が食べられる被害が増えている。 網にアザラシが寄っていたら、魚は用心して入ってこない。 昔は襟裳岬でたくさんアイナメが釣れたが、約15年前からいなくなった。みんなアザラシが食べた。 	<ul style="list-style-type: none"> 被害は9月に多い。 防除格子網を付ける以前は、多い時で被害が数百kgあった。 漁獲が少ない時は網に入った魚の半分くらいが被害だった。魚が少ない方が、アザラシも魚を捕まえやすいのか被害が多い。 被害の8～9割はサケの頭だけが落とされる被害。 今も昔も被害の程度は同じ。ほとんど被害はない。 目に見えない被害が何本あるか分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 全身が食べられるブリの被害が出ている。 昔はサケの頭が落とされる被害だったが、3～4年前から身がグチャグチャにされるようになった。 魚が少ないほど被害が出る。 魚にとってアザラシは敵であるため、網のそばにいと魚がやって来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 魚が多ければ、アザラシ被害は少ない。 被害は9月に多い。 酷い時は1日20～30尾被害がある。 サケマスの稚魚も相当食われていると思う。 海が環境が変化しているが、アザラシ被害の変化はない。ただ、襟裳岬周辺で漁獲がなければ、アザラシがこちらに来て被害を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 10年ほど前から被害が出るようになり、被害はどんどん増えてきている。 サケへの被害は頭が取られることがほとんど。ここ1～2年は魚が少ないのか、身がポロポロにされることが多い。 (他地域でも)昔はサケマスがたくさん獲れたため、多少被害があっても気にしなかったのだと思う。 魚が網にたくさん入っていれば、魚の圧に負けてアザラシは入ってこない。 アイナメもいなくなった。 何年か前に酷い被害が出たことがある。また被害が出るかもしれないと不安になる。
ゼニガタアザラシの頭数について	<ul style="list-style-type: none"> 昔は漁獲が多く被害があっても苦にならなかった。今は漁獲が減っているので個体数と被害を減らしたい。 捕獲が50頭では被害軽減の内に入らない。 少しずつ捕獲しているが、例えば生息頭数の1/3や半分など一度に多くの頭数を捕獲する考えはないのか。 生まれた頭数や自然死した頭数は分からないため、目に見えて個体数が減ったことが分かるだけ捕獲して欲しい。 保護など気にしていない時代にたくさん捕っていたにもかかわらず頭数が増えていたのだから、今はもっと増えているだろう。 これまでに一番少なかった頭数まで減らしても、また増えていくと思う。 ゼロ頭にしないと被害はなくなるらない。 絶滅しないようにとは、現在や100年後に何頭残っていればいいのか。被害対策の目標となる具体的な頭数の目安が欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 捕獲頭数が40や50頭じゃ足りない。少しずつ減らしても実際の総数は分からず、増えているかもしれない。 一気に500頭とか300頭に減らし、そこからどうするか考えるようにして欲しい。 アザラシが何頭になっても被害は変わらない。網の中に1頭でも2頭でも入れれば被害が出るからゼロ頭がいい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本当はアザラシを全滅させたい。 頭数を半分くらいまで減らせないか。 他の定置網の被害の状況を聞いていると、今の目標としている捕獲頭数でよいとは言えない。 アザラシをゼロ頭にできないことは分かっている。被害のことを思うと、少しでもアザラシの頭数が減って漁業被害が減って欲しい。 魚がたくさん獲れていれば、少くらしい被害があっても仕方ないと思えるが、今は魚がいなので黙っていられない。 多少の被害は仕方ないと思う。ただあまりにも被害が酷い。 	<ul style="list-style-type: none"> 昔のように何十トンもサケが獲れれば数本被害があっても仕方ないと思えるが、魚が少なくなっているのなるべく被害にあいたくない。 アザラシはゼロ頭がいいが、そうはならないだろうからサケが増えてほしい。 対策として見えているアザラシをすべて捕獲する。 	<ul style="list-style-type: none"> もっとアザラシを捕らないと被害は減らないと思う。捕獲頭数は100頭でもよいのではないかと。 1年くらい300頭ほど多く捕獲して、翌年から捕獲を30頭や50頭に減らして様子を見るのはどうか。 漁業に被害がなければ何頭いてもいいが、被害が出るためゼロ頭がいい。頭数は限りなく少ない方がいい。 頭数を8割に減らすことを目標にしているというが、良い影響が出ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 目に見えない被害と目に見える被害を区別しないためには捕獲しかない。 個体数をゼロにしろと言っているわけではない。以前会議で半分まで減らした方がよいという話があった。 アザラシがいる限り被害がなくなることはあり得ない。 調査研究をしているのは良いが、絶滅しないというのどこまで残せばいいのか適切な頭数を示して欲しい。

※同地区内の異なる意見も区別せずにまとめている。

【資料1-4別紙1】

	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区
防除格子網について	<ul style="list-style-type: none"> 今は防除格子網を外すのが怖い、最終的には防除格子網を外して操業したい。 防除格子網を付けると魚が入りづらくなり、手前で帰っていく。 魚の回遊に合わなければ、防除格子網があってもなくても魚は入らない。 会議で防除格子網とうまく付き合ってくれと言われたが、それでは納得できない。 今は魚が少なくなっているのに、被害に目がいく。昔は防除格子網を必要とするほどではなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 防除格子網の性能は最高。 防除格子網を付けることで魚が入ってこなくなり、時化ると木が引っかかり網を傷つけるリスクがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 防除格子網を使い始めてから、被害が激減した。魚の入り状況やアザラシ被害の様子を見て付けたり外したりしている。 今までの被害対策が一番良い。他の対策はアザラシが慣れて網に入ってしまうが、防除格子網は金庫網に入れない。 防除格子網を付けると魚が引き返すかもしれないという不安もある。また、マグロや海そうが引っかかり、魚が金庫網へ入る際に邪魔になる。 襟裳岬方面で防除格子網が付いているところらにアザラシが来るため、防除格子網を設置しないといけない。 被害が少ないこともあるが、防除格子網は絶対に付けたくない。他社も本当は防除格子網を付けたくないと思うが、被害が多いので苦渋の決断で付けているのだろう。 	-	<ul style="list-style-type: none"> そこまでの被害ではないため、防除格子網を付ける必要は無いと思っている。魚が入ってこない恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 防除格子網を付けると魚が入ってこないのではないか。 ゼニガタアザラシが減っていないのに、防除防除網をやる意味がない。アザラシは海にいるのだから、別のところで餌を食べている。
非致死防除対策について（これまで協議会が実施してきた対策、今後の対策について）	<ul style="list-style-type: none"> 音波忌避装置は効果なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 音波忌避装置は全然効果がなかった。 追い払いは、秋は時化るから船が出せないし、昆布漁をやっているから忙しい。 生体個体をお仕置きして放獣しても、腹が減って死ぬよりはまた来るだろう。 新しい案はほとんど出ないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> アザラシを寄せ付けない対策は慣れてしまう。 水中ドローンで追い払えないか。 被害対策がアザラシに効くということは、魚にも影響が出るかもしれない。 定置網にアザラシが寄らないように、生息岩礁に近い場所でカゴなどに安い魚を入れて餌として置くのはどうか。 	-	<ul style="list-style-type: none"> 定置網への新しい対策はこの先ないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> アザラシを減らすのではなく、サケマスを増やせないか。
これまで漁業者が独自で実施してきた被害対策	<ul style="list-style-type: none"> カカシ、ししおどしのような不定期に水が落ちて水中で音が鳴る装置、トド避け用の花火、死んだアザラシを海中に吊るす等の対策をしてきた。 何をやっても効かないか慣れてしまう。 金庫網を表層から中層に沈めていることもアザラシ対策である。 	<ul style="list-style-type: none"> 一番良かったのは混獲で捕まえた死んだアザラシを海中に吊す方法で、昔はその方法ばかりだった。脂が抜けると効果が切れるので交換用のアザラシを冷凍庫に保存していたが、それでもそのうち慣れる。 対策してもアザラシが慣れてしまい、長く続かない。 対策をしたことがない。他社の話を聞いたが効果があると感じなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 海中にアザラシを吊す方法を試したが効かなかった。 昔に磯舟から銃でアザラシを撃ったことがある。当たったか分からないが、それでも網に入ってきた。 磯舟や本船で見回りをしたことがあり、その時は効果があるが、船がいなくなればまた来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 10年以上前に自分達で防除格子網を作成して設置していた。 死んだアザラシを海中に吊す対策を聞いて実施したが、効果が分からず続かなかった。 もう少し被害があれば対策を考えるかもしれない。 	ない	<ul style="list-style-type: none"> シャチの浮き輪、磯舟の設置、懐中電灯の設置等を試したがどれも慣れて効果がなかった。
ゼニガタアザラシの観光利用について	<ul style="list-style-type: none"> アザラシを可愛いと思うが、本当はPRされると困る。捕獲しづらくなるだろう。 捕獲や混獲したアザラシを受け入れてくれる地域はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光を商売にしている人にとってはいいだろうが、漁師にとってアザラシは敵。 見るのは何頭かだから観光で客が来るのはいいと思う。被害がなければ何頭いてもいい。 	<ul style="list-style-type: none"> アザラシを観光に使うことはやめてもらいたい。駆除しづらくなるので、本当は迷惑。 観光でアザラシが目目されることについては、個人の考えの差であり、こちらは気にしない。 地域にお金落ちて無駄じゃない。むしろやって欲しい。被害を受けている分、観光で潤うのは良いことではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 被害がなければ、別にアザラシがいてもいい。 	<ul style="list-style-type: none"> 漁船を使って風景を見せるなど、これから魚が減ってきたら必要な手段だと思っている。 襟裳岬ではアザラシを見に来る人もいるため、観光資源になることはいいと思う。 たくさん見られるより、たまに見れる方が価値があつていいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> まったくメリットはないが、皆殺しにするわけにはいかないため、ある程度共存していかないといけない。 被害はどうにかして欲しいが、観光はやってほしい。 観光客もアザラシをたくさん見られるより、たまに見えただ方がいいのではないかと。
その他(ご意見等)	<ul style="list-style-type: none"> もしゼニガタアザラシが絶滅したら誰が困るのか。誰のために保護しているのか。アザラシを保護することでこちらが困っている。 		<ul style="list-style-type: none"> えりも漁協管内より東側でも被害があるか知りたい。 漁業被害や被害対策の網の改良に助成金を出せないか。 生きたアザラシを回収してほしい、保護してほしいということであれば見合った金額を出してほしい。今は漁業者への保障が見合っていないアンバランスな状態。納得できれば、保護や共存に協力できるかもしれない。今は納得している定置事業者はいない。 定置網に寄らないアザラシを減らしても意味がない。定置網に寄るアザラシについて調査して、もっと効果的な捕獲をして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> えりも岬地区ほど被害がないからアザラシに憎たらしいというほどではないが、漁獲がない時はメンタルがやられて被害があるとダブルパンチ。 漁獲がなくて被害もありお金にならないと漁師をやる人がいなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活がかかっているのに、被害が多い地区の意見を重点的に汲んであげて欲しい。 漁業被害対策と捕獲による間引きがひとくくりになっていると感じるが、同じ土俵ではない。できる限りアザラシの頭数を減らしたいと考える漁業被害対策と、アザラシを絶滅させないようにする個体群管理の考えがリンクしない。 	<ul style="list-style-type: none"> 被害が大きい地区で漁師が生活できるように思いを聞いて欲しい。 春定置でも漁業被害アンケートを取った方がよいのではないかと。